

WBC デスクトップ仮想化ソリューション 導入事例

多様な働き方の促進や新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の拡大により、政府がテレワーク推進を加速させている状況など、場所や時間を選ばずに仕事ができる環境整備が急がれています。抑えるべき概要や効果、実現するための技術、セキュリティの確保など担当者の頭を悩ます課題について、WBCの「デスクトップ仮想化ソリューション」は「顧客常駐型システム運用管理サービス」で培った長年の豊富なサポート経験から、現場目線で課題解決を支援する「デスクトップ仮想化パッケージ」として導入後のサポートまでワンストップで対応します。

提供タイプは、国内市場で好まれている占有型の「オンプレミス型」「プライベートクラウド型」、提供方式は「VDI方式」「SBC方式」をご用意しています。

事例１．教育機関（大学） オンプレミス型

利用対象	PC教室 / オープン端末	【 PC教室に行かなくてもPC教室の環境が利用できる 】 PC教室にインストールされているアプリケーションソフトは、共通ではなく、場合によっては同じ時間に利用要望が重なるなど、ファットPCでは学習環境改善上の弊害が存在していた。VDI を採用したことで、その課題をクリアし、全てのキャンパスで必要な時に必要な分だけ、個人研究室や小教室であってもPC教室環境の利用が可能となった。
接続台数	1000	
外部接続	無	
方 式	VDI	
仮想基盤	VMWare	
接続端末	シンククライアント	

事例２．教育機関（大学） オンプレミス型

利用対象	教員PC	【 TCOと運用管理作業が同時に50%ダウン 】 ファットPCでは、故障時の修理に時間や作業負荷がかかっていた。修理時間が正確に見積もれないためである。結果的に利用できない時間が長くなり、それを防ぐための保守費用も増大し、コスト面が課題となっていた。価格が安価で、保証期間が長いゼロクライアントを導入することで、予備機を少し持ち、故障時に交換して端末をセンドバックする運用が可能となり、保守費用を50%ダウン(※当社比)することに成功。
接続台数	250	
外部接続	有	
方 式	VDI	
仮想基盤	VMWare	
接続端末	ゼロクライアント	

事例３．教育機関（大学） オンプレミス型

利用対象	PC教室 / オープン端末	【 仮想デスクトップの性能問題を解決 】 仮想基盤を刷新した新仮想デスクトップシステムは、従来は2分以上かかっていたログイン時間も、1 分以内へと大幅な短縮を実現。高解像度の 動画教材 や YouTube などストレスなく利用できるようになった。学生や教員のアンケートなどからも、性能に関する苦情がなくなり、快適な性能、ユーザーエクスペリエンスを提供する仮想デスクトップという当初の目標を達成することができた。
接続台数	1000	
外部接続	有	
方 式	VDI / 仮想ネットワーク	
仮想基盤	VMWare	
接続端末	シンククライアント	

事例４．教育機関（大学） オンプレミス型

利用対象	事務端末	【 セキュリティ強化と一元管理 】 先行して教育研究環境に VDI と 仮想ネットワーク を導入。安定稼働後に「資産効率」「セキュリティ」「BCP」「多様な働き方」「学内デスクトップの一元運用管理」「既存システムの有効活用」「先のクラウドへの展開」などをテーマとして事務部門へ VDI を展開。仮想ネットワークを採用したことで教育研究、事務の各ネットワークでの障害が発生した場合、早期に切り分けが可能となり、提供する環境の品質向上に寄与。
接続台数	350	
外部接続	有	
方 式	VDI / 仮想ネットワーク	
仮想基盤	VMWare	
接続端末	シンククライアント	

事例5. 一般企業（製造業） オンプレミス型

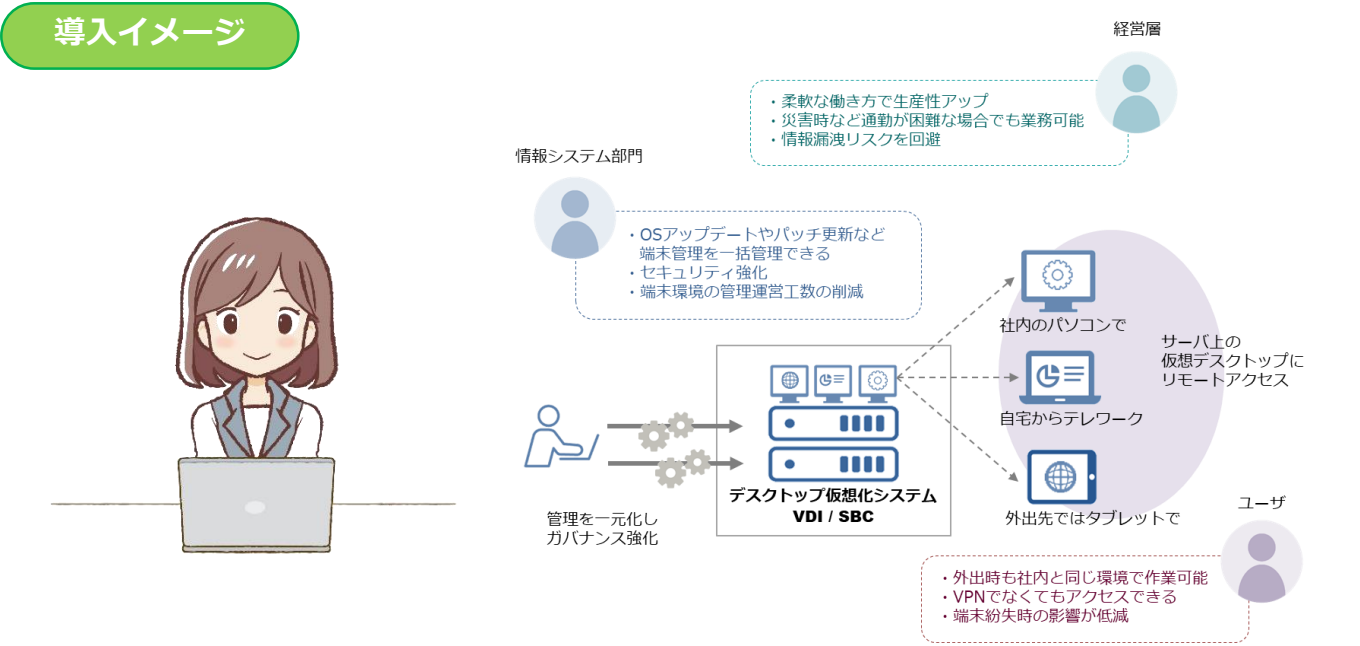
利用対象	事務端末	【 SBCによるデスクトップ仮想化システムの試験導入 】 他のグループ企業で過去に導入した デスクトップ仮想化システムの評価が悪く、自社でデスクトップ仮想化の導入を進められない状況となった。稼働実績を作るために、グループ企業向けコールセンター内勤者を中心にコストが抑えられる SBC で試験導入を実施。アプリケーションの動作互換性やChromeBookでの動作検証など課題はあったが、概ねクリアしており安定稼働を実現。
接続台数	50	
外部接続	無	
方 式	SBC	
仮想基盤	Hyper-V	
接続端末	ファットPC / Chromebook	

事例6. 一般企業（情報サービス業） プライベートクラウド型

利用対象	事務端末 / 営業端末	【 仮想デスクトップの性能問題解決と多様な利活用 】 第1期導入から5年が経過し、システム全般の見直しを実施。課題となっていた仮想デスクトップの性能問題、モバイルワークのセキュリティ強化と利便性向上を同時に実現。営業が使うモバイル端末には VDI を採用し、事務端末は SBC とする「ハイブリッド構成」とした。外部接続については VDI / SBC ともに対応しており問題なく稼働している。仮想化専用ストレージの「Tintri」を採用したことで安定稼働と運用軽減につながっている。
接続台数	200	
外部接続	有	
方 式	SBC / VDI	
仮想基盤	VMWare	
接続端末	シンクライアント / ファットPC	

事例7. 一般企業（情報サービス業） プライベートクラウド型

利用対象	事務端末 / 営業端末	【 ワークスタイル変革と業務効率化 】 多様な働き方の促進や新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の拡大により、テレワークなどワークスタイル変革が急務となり、業務効率化と並行してデスクトップ仮想化システムを導入。社員が自宅や外出先など、どこからでも安全に業務やWebミーティングを行える環境の提供と課題であった端末環境の管理運営については、プレミアム運用サポート契約を締結し大幅に軽減することができた。
接続台数	200	
外部接続	有	
方 式	SBC	
仮想基盤	VMWare	
接続端末	IoTクライアント / ファットPC	



WBCワールドビジネスセンター株式会社

ソリューション事業本部 ソリューション営業部 営業2課
京都本社 〒601-8443 京都市南区西九条東御幸田町25番2
TEL:075-662-7055 担当：走上 eigyo@wbc.co.jp
東京本社 〒101-0042 東京都千代田区神田東松下町17番地 ニッテン神田ビル4階
TEL:03-5289-9966 担当：田中 eigyo@wbc.co.jp

